



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年5月13日

上場会社名 株式会社ステムセル研究所 上場取引所 東
コード番号 7096 URL <https://www.stemcell.co.jp/corporate/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 崇文
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 谷 勝弘 (TEL) 03-6811-3230
定時株主総会開催予定日 2025年6月25日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年6月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	2,679	8.0	418	1.1	428	2.8	385	24.1
2024年3月期	2,481	18.6	413	39.1	417	38.9	310	57.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	37.67	—	14.5	6.1	15.6
2024年3月期	30.35	—	12.5	6.8	16.7

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

経営成績に関する注記

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	7,500	2,627	35.0	258.35
2024年3月期	6,543	2,692	41.2	262.78

(参考) 自己資本 2025年3月期 2,627百万円 2024年3月期 2,692百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	467	△259	146	3,200
2024年3月期	334	△811	△1	2,845

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期	—	25.00	—	0.00	25.00	256	66.4	9.6
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	12.0	450	7.5	450	5.0	320	△17.1	31.46

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期	10,246,600 株	2024年3月期	10,246,600 株
② 期末自己株式数	2025年3月期	75,112 株	2024年3月期	46 株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	10,241,560 株	2024年3月期	10,246,554 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 事業計画及び成長可能性に関する事項の開示を予定している時期

次回の開示は、2025年6月下旬を予定しております

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当期の経営成績の概況	1
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は「あたらしい命に、あたらしい医療の選択肢を。」をコーポレートスローガンに、産婦人科施設との強固なネットワークを活用し、再生医療・細胞治療を目的とした「さい帯」や「さい帯血」等の周産期組織由来の細胞バンク事業の展開及びそれらの細胞等を利用した新たな治療法の開発を行っております。そしてこの事業基盤をベースとして再生医療やフェムテック等関連する領域での事業開発及び投資等によるサステナブルな成長と社会への貢献を目指しております。

当期においては、新サービス（保管）プランの導入や再生医療分野の研究推進、国内・海外での事業基盤整備など、将来を見据えた多面的な取り組みを積極的に推進いたしました。

2024年11月より導入した新プラン「HOPECELL」では、さい帯・さい帯血の両方を採取することで出産時に採取できる貴重な細胞を確実に保管いただけるようになりました。この新プランでは月額2,980円（税込）の分割支払いを設定したことで、従来のプランと比較して平均成約率が約10%、また平均単価は約30%アップしております。

成長因子やエクソソーム等を含む、さい帯由来「ファミリー上清」製造サービスについては、申込者数が着実に増加し、実際に投与を受けるご家族も増加しています。本サービスも、再生医療への期待に応えるものとして、関心が高まってきております。

また、国内における細胞バンク事業の拡大に伴い、2025年5月に新たな細胞保管センター（第3CCC）を開設しました。本施設では、最新の保管機器を導入すると共にこれまでの運用知見を活かし、より高度で効率的な液体窒素供給インフラを構築しております。これにより当社の総保管キャパシティは約20万検体に拡大いたしました。さらに、当期においては、将来の生産及び保管能力の拡充のため神奈川県横浜市に事業用地を取得し、細胞処理センター及び細胞保管センターを建設する計画を進めております。

海外展開では、経済成長が見込まれる東南アジア（SEA）市場への進出を目指し、2024年11月にシンガポールへ現地法人「STEMCELL INNOVATIONS PTE. LTD.」を設立いたしました。年間約1,000万人の出生数（日本は約72万人）があり、細胞バンク事業が浸透しつつある同地域において、来期（2026年3月期）中の事業開始を目指し、準備を進めています。

再生医療分野の臨床研究につきましては、大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学教室との「自閉症スペクトラム障害（ASD）に対する自家さい帯血有核細胞を用いた治療法の開発」の臨床研究が始まりました。ASDは100人に1人の割合で診断されると言われており、当臨床研究においても被験者募集開始と同時に多くの参加希望があり、すでに第一次の投与枠は締め切りとなっております。また、高知大学における、さい帯血を用いた脳性麻痺の臨床研究では、これまでに投与を受けた患者において運動能力の改善などの効果が確認されています。ある症例では、さい帯血の投与後に転倒の回数が減少、両手でおもちゃを掴めるようになるなどの変化が見られました。また他の症例でも、運動機能だけでなく発達状態や知的能力の改善にも寄与する可能性が示されています。現在高知大学ではさらに多くの症例を対象とした臨床研究を計画しており、さい帯血を用いた再生医療の可能性が広がることが期待されています。

当社では、関連する事業領域において将来性のある分野への投資活動も積極的に推進しており、これまでに再生医療・妊娠・出産関連を中心とした企業6社に投資を行い、当第1四半期においては2023年6月に上場した投資先企業の株式売却により、特別利益136,939千円を計上しました。また2025年2月には新たに、世界初、家庭用妊婦向け超音波エコー「ポケمام」のサブスク事業を展開する株式会社スマートエコーへの投資を実行いたしました。

その他、株主還元の充実及び資本効率の向上を目的に自己株式を取得（2024年12月18日～2025年11月30日）しております。また、2025年2月には、市場流動性の向上を目的に、親会社である株式会社日本トリムによる当社株式の立会外分売（約2.05%）を実施いたしました。

これらの活動の結果、当事業年度における売上高は2,679,175千円（前年同期比8.0%増）、営業利益は418,509千円（前年同期比1.1%増）、経常利益428,773千円（前年同期比2.8%増）、当期純利益は385,796千円（前年同期比24.1%増）と、全ての項目で過去最高を更新しておりますが、新プラン「HOPECELL」の立ち上がりにより時間を要したことが影響し、通期業績予想に対する実績値は下回る結果となりました。来期においては、同プランの運用体制の強化やマーケティング戦略の見直しを通じて、業績向上を実現してまいります。

なお、当社は、単一セグメントのため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における資産合計は7,500,939千円となり、前事業年度末に比べ957,864千円増加いたしました。流動資産は5,172,467千円となり、前事業年度末に比べ657,427千円増加いたしました。これは主に、長期預金からの振替え等により、現金及び預金が355,305千円増加したこと及び売上高の増加に伴い売掛金が252,367千円増加したことによるものであります。固定資産は2,328,471千円となり、前事業年度末に比べ300,436千円増加いたしました。これは主に長期預金を現金及び預金へ振替えたことにより500,000千円減少した一方、細胞保管設備の新設により建物が100,927千円、新たな細胞処理・細胞保管センター用の土地の新規取得により土地が400,930千円、新基幹システムの開発によりソフトウェア仮勘定が81,493千円、投資有価証券が新規取得等により134,958千円増加したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は4,873,089千円となり、前事業年度末に比べ1,022,629千円増加いたしました。流動負債は4,318,050千円となり、前事業年度末に比べ558,028千円増加いたしました。これは主に、前受金が351,966千円、細胞保管設備の新設等により未払金が107,052千円増加したことによるものであります。固定負債は555,039千円となり、前事業年度末に比べ464,601千円増加いたしました。これは主に、新規借入により長期借入金が437,589千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は2,627,849千円となり、前事業年度末に比べ64,765千円減少いたしました。これは、配当による利益剰余金の減少256,163千円、自己株式の新規取得94,038千円、その他有価証券評価差額金の減少100,360千円があった一方、当期純利益の計上385,796千円があったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末と比べ355,305千円増加し、3,200,846千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は、467,685千円（前事業年度は334,625千円）となりました。これは主に、税引前当期純利益を565,712千円計上したこと及び保管検体数の増加に伴い前受金が351,966千円増加した一方、売上債権が252,367千円増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は、259,084千円（前事業年度は811,773千円）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入500,000千円があった一方、投資有価証券の取得による支出330,002千円、有形固定資産の取得による支出477,795千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動の結果得られた資金は、146,704千円（前事業年度は1,333千円の使用）となりました。これは、配当金の支払額255,832千円、自己株式の取得による支出94,038千円があった一方、長期借入れによる収入510,000千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社の中期的な経営目標である保管数20,000検体（国内出生数に対する保管率約3％）の達成及び持続的な成長に向けて、以下の3つの重点戦略を中心に組み立ててまいります。

1. 新プランの推進強化

新保管プラン「HOPECELL」の本格的な浸透に向けて、リアルマーケティングとオンラインマーケティングの両面から体制を強化してまいります。

・ リアルマーケティング

全国に100名以上在籍している、産科施設で開催される母親学級にて当社サービスの紹介を行う「母親学級スピーチスタッフ」対し、ピラミッド型の体制を構築しています。リーダー層を設けることで、教育・指導体制を強化し、質の高いスピーチを安定的に提供できるようにします。また、シンガポールにおけるさい帯血バンクのマーケティング手法を参考に、産科施設に当社専用ブースを設置し、その場での資料請求や契約の獲得を目指します。

・ オンラインマーケティング

運用体制の強化を目的に広告代理店の変更を行いました。また、訴求力及びコンバージョンを向上させるため、クリエイティブやランディングページ（LP）を再設計し、WEB広告の全面見直しを行っています。さらに保管者及び投与者の声や当社施設紹介等の信頼性の高い動画コンテンツを制作してサービス理解の促進を進めると共に、販促物やWEBサイト等の改善及び検証を継続的に行う体制を構築して、PDCAの高速化を図ります。

2. 東南アジア（SEA）市場への事業展開

現地の医療制度及び競合動向等の情報収集、市場環境の分析を終え、2024年11月に設立したシンガポール法人を拠点として、2026年3月期中の事業開始を目指して本格的に準備を進めております。

シンガポール市場における民間さい帯血バンクは3社ですが、そのうちの1社（最大手）の運営トラブルにより、市場環境に変化が見られます。同市場では年間出生数約3万人に対し、さい帯血保管率は約20%、約6,000検体と高水準で推移しており、市場全体の売上規模は約50～60億円と推定されています。

当社は、日本ブランドとしての品質及び信頼性を強みにして市場参入し、今後3～5年以内にシンガポール国内での年間売上高約10億円、東南アジア（SEA）全体では年間30～50億円を目標に、収益基盤の構築を進めてまいります。

3. さい帯・さい帯血を用いた先進的な研究開発の推進

「さい帯血」につきましては、大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学教室との「自閉症スペクトラム障害に対する自家さい帯血有核細胞を用いた治療法の開発」の臨床研究が開始され、その他、高知大学医学部附属病院小児科において脳性麻痺児に対する臨床研究そして、大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学教室を中心としたグループとの低酸素性虚血性脳症（HIE）児に対する臨床研究が引き続き進められております。また、FDA認可のもと米国デューク大学が進める脳性麻痺児等へのさい帯血投与プログラムでは、当社でさい帯血を保管されている方々が参加されるケースが増加しており、これらを支援する体制を強化してまいります。

「さい帯」につきましては、大阪大学大学院医学系研究科スポーツ医学教室と設立した「運動器スポーツバイオメカニクス学講座」において、新たな半月板治療法の開発を推進しており、また、東京大学医科学研究所セルプロセッシング・輸血部及び東京大学医学部附属病院ティッシュ・エンジニアリング部との小児形態異常等の先天性疾患に対する治療法の開発も継続して進めてまいります。

以上により、2026年3月期は、売上高3,000,000千円、東南アジア事業の立ち上げ費用として1億円を見込んだうえで、営業利益450,000千円、経常利益450,000千円、当期純利益は320,000千円と前期において株式売却特別利益を計上した当期純利益以外は引き続き、過去最高を見込んでおります

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針です。なお、国際会計基準の適用については国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,845,540	3,200,846
売掛金	1,588,310	1,840,677
原材料及び貯蔵品	42,262	50,979
前渡金	—	100
前払費用	39,731	48,045
その他	3,516	36,112
貸倒引当金	△4,322	△4,292
流動資産合計	4,515,040	5,172,467
固定資産		
有形固定資産		
建物	635,325	736,252
工具、器具及び備品	595,071	678,175
土地	—	400,930
リース資産	9,906	22,272
減価償却累計額	△575,147	△682,067
有形固定資産合計	665,155	1,155,563
無形固定資産		
ソフトウェア	21,809	30,059
ソフトウェア仮勘定	19,800	101,293
商標権	—	1,004
無形固定資産合計	41,609	132,357
投資その他の資産		
投資有価証券	512,897	647,856
役員に対する長期貸付金	133,050	133,050
関係会社株式	16	34,477
関係会社長期貸付金	5,404	4,000
長期前払費用	7,448	4,564
長期預金	500,000	—
繰延税金資産	5,334	60,190
その他	157,118	156,411
投資その他の資産合計	1,321,270	1,040,550
固定資産合計	2,028,034	2,328,471
資産合計	6,543,075	7,500,939

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	35,300	24,925
未払金	91,043	198,096
未払費用	20,803	22,742
未払法人税等	88,930	136,669
前受金	3,420,493	3,772,460
リース債務	2,108	4,899
預り金	8,822	3,982
賞与引当金	50,500	64,925
1年内返済予定の長期借入金	—	62,328
その他	42,018	27,020
流動負債合計	3,760,022	4,318,050
固定負債		
長期借入金	—	437,589
役員退職慰労引当金	27,681	39,111
リース債務	6,676	14,146
資産除去債務	56,079	64,192
固定負債合計	90,437	555,039
負債合計	3,850,459	4,873,089
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,805	704,805
資本剰余金		
資本準備金	589,805	589,805
資本剰余金合計	589,805	589,805
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,318,386	1,448,019
利益剰余金合計	1,318,386	1,448,019
自己株式	△91	△94,130
株主資本合計	2,612,906	2,648,500
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	79,708	△20,651
評価・換算差額等合計	79,708	△20,651
純資産合計	2,692,615	2,627,849
負債純資産合計	6,543,075	7,500,939

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	2,481,193	2,679,175
売上原価	905,311	987,085
売上総利益	1,575,882	1,692,090
販売費及び一般管理費	1,162,122	1,273,581
営業利益	413,759	418,509
営業外収益		
受取利息	3,527	10,057
助成金収入	698	72
協賛金収入	3,342	2,868
雑収入	587	504
営業外収益合計	8,155	13,502
営業外費用		
解決金	2,117	—
業務委託費	2,526	—
支払利息	—	1,202
為替差損	—	78
支払手数料	—	758
雑損失	—	1,200
営業外費用合計	4,643	3,238
経常利益	417,271	428,773
特別利益		
投資有価証券売却益	22,327	136,939
その他	1,746	—
特別利益合計	24,074	136,939
特別損失		
固定資産除却損	17	0
特別損失合計	17	0
税引前当期純利益	441,327	565,712
法人税、住民税及び事業税	128,123	190,088
法人税等調整額	2,222	△10,172
法人税等合計	130,346	179,916
当期純利益	310,981	385,796

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	704,805	589,805	589,805	1,007,405	1,007,405	△91	2,301,924
当期変動額							
剰余金の配当							—
当期純利益				310,981	310,981		310,981
自己株式の取得							—
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）							
当期変動額合計	—	—	—	310,981	310,981	—	310,981
当期末残高	704,805	589,805	589,805	1,318,386	1,318,386	△91	2,612,906

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△3,336	△3,336	2,298,588
当期変動額			
剰余金の配当			—
当期純利益			310,981
自己株式の取得			—
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）	83,045	83,045	83,045
当期変動額合計	83,045	83,045	394,026
当期末残高	79,708	79,708	2,692,615

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	704,805	589,805	589,805	1,318,386	1,318,386	△91	2,612,906
当期変動額							
剰余金の配当				△256,163	△256,163		△256,163
当期純利益				385,796	385,796		385,796
自己株式の取得						△94,038	△94,038
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）							
当期変動額合計	—	—	—	129,632	129,632	△94,038	35,594
当期末残高	704,805	589,805	589,805	1,448,019	1,448,019	△94,130	2,648,500

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	79,708	79,708	2,692,615
当期変動額			
剰余金の配当			△256,163
当期純利益			385,796
自己株式の取得			△94,038
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）	△100,360	△100,360	△100,360
当期変動額合計	△100,360	△100,360	△64,765
当期末残高	△20,651	△20,651	2,627,849

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	441,327	565,712
減価償却費	120,594	128,278
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	482	△29
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,842	14,424
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,668	11,429
受取利息及び受取配当金	△3,527	△10,057
支払利息	—	1,202
固定資産除却損	17	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△22,327	△136,939
売上債権の増減額 (△は増加)	△447,484	△252,367
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,909	△8,716
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,114	△10,374
未払金の増減額 (△は減少)	9,551	2,113
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,702	△13,692
前受金の増減額 (△は減少)	325,485	351,966
その他	3,727	△37,573
小計	442,264	605,375
利息及び配当金の受取額	3,022	8,854
利息の支払額	—	△1,569
法人税等の支払額	△110,661	△144,974
営業活動によるキャッシュ・フロー	334,625	467,685
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500,000	—
定期預金の払戻による収入	—	500,000
投資有価証券の取得による支出	△199,900	△330,002
投資有価証券の売却による収入	72,327	186,939
関係会社株式の取得による支出	—	△34,461
有形固定資産の取得による支出	△183,457	△477,795
無形固定資産の取得による支出	△18,199	△96,951
長期貸付けによる支出	—	△10,000
長期貸付金の回収による収入	—	11,404
敷金及び保証金の差入による支出	△6,782	△9,014
その他	24,238	796
投資活動によるキャッシュ・フロー	△811,773	△259,084
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	510,000
長期借入金の返済による支出	—	△10,083
リース債務の返済による支出	△1,333	△3,341
自己株式の取得による支出	—	△94,038
配当金の支払額	—	△255,832
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,333	146,704
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△478,480	355,305
現金及び現金同等物の期首残高	3,324,021	2,845,540
現金及び現金同等物の期末残高	2,845,540	3,200,846

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社の事業セグメントは、細胞バンク事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	262.78円	258.35円
1株当たり当期純利益	30.35円	37.67円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	310,981	385,796
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	310,981	385,796
普通株式の期中平均株式数(株)	10,246,554	10,241,560